

F SPORT PARTS (TRD)

MS343-30011

リヤディフューザー

取付取扱要領書

この度はF SPORT PARTS (TRD) リヤディフューザーをお買い上げ頂きありがとうございます。
本商品を正しくお使い頂く為に、裏面の注意書と下記をよくお読みになった上で装着し、安全にご使用頂くよう、
お願い致します。なお本書は必ずお客様にお渡し下さい。

★ 本商品は未登録車への取付けは出来ません、取付は車両登録後に行ってください。

■ 品番・適合

品 番	塗 装 色	適 合 車 種	型 式	年 式	備 考
MS343-30011	ブラック・メタリック (11BK12)	GS250 GS350 GS450h GS300h	GRL11 GRL12 AWL10 GWL10	'15.10 ~	

■ 構成部品

	部 品 名	品 番	数 量	備 考
①	リヤディフューザー		1	
②	牽引フックカバー		1	
③	アンダーカバー		1	
④	タッピングスクリュー		2	M5×16
⑤	タッピングスクリュー		6	M5×15
⑥	Jナット		8	
⑦	ウエルナット		4	
⑧	ボルト		4	M5×16
⑨	クリップ		2	
⑩	ボルト		2	M6×16
⑪	ナット		2	M6用
⑫	リベット		4	
⑬	ブラケット		1	
⑭	ブラケット		2	
⑮	型紙		1	A4
⑯	型紙		1	A3
⑰	取付取扱要領書		1	本書
⑱	黒シール		1	
⑲	ワッシャー		3	

①



②



③



④



⑤



⑥



⑦



⑧



⑨



⑩



⑪



⑫



⑬



⑭



⑮



⑯



⑰



⑱



⑲



■取付・取扱上の注意

この取付・取扱要領書では安全にご使用いただく為に、特にお守り頂きたいことなどを、次のマークで表示しています。

 警告	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が死亡したり、重傷等を負う可能性がある内容について書かれています。
 注意	この内容に従わず、誤った取付け、取扱いを行うと、人が障害を負ったり、製品等の物的損害に結びつく可能性がある内容について書かれています。
 アドバイス	スピーディーに作業していただく上で知っておいていただきたいことを記載しています。

確認 本商品が到着後、すぐに本体に破損が無いこと、付属品が全て揃っていることを確認してください。

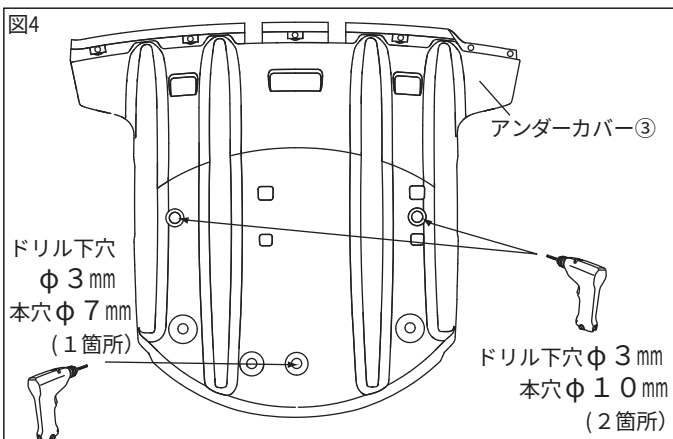
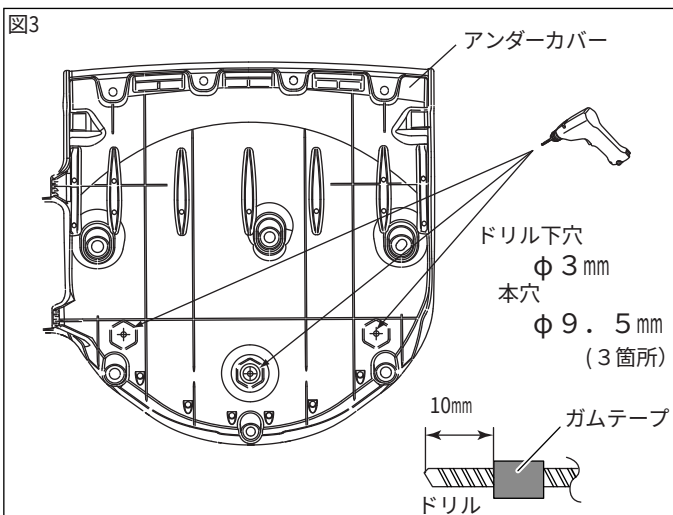
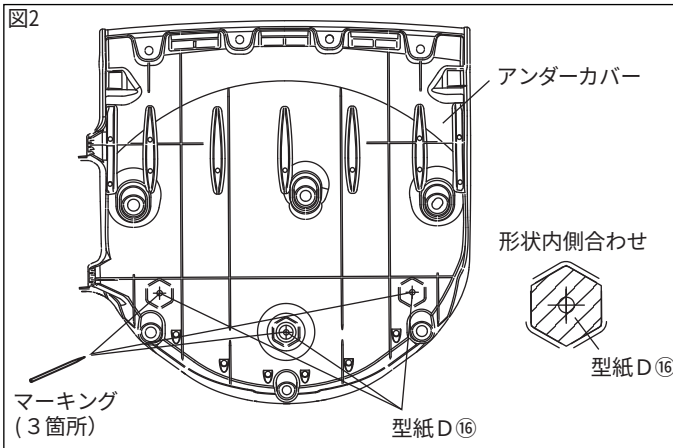
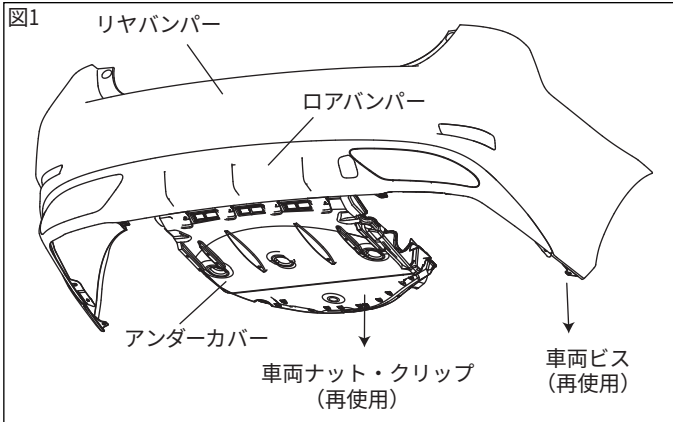
-  **警告** 取付作業は、必ず平坦な場所でエンジンを切り、サイドブレーキがかかっていることを確認後行ってください。不安定な場所での作業や、車両が動く状態での作業は重大な事故原因となります。
-  **警告** エンジンルームやマフラー等の付近で作業を行う場合、ヤケド等の重大な怪我に注意してください。
-  **警告** 本商品への改造・加工、適合車種以外への装着は絶対に行わないでください。破損や事故の原因となります。
-  **警告** 取付け初期は、ボルト類が緩みやすいので、数キロ走行後には必ず増し締めを行ってください。
-  **警告** 取付け後、本商品と他の部品とが干渉していないかを確認してください。干渉している場合は、本商品を購入した販売店にご相談ください。そのまま走行すると破損や故障の原因となります。
-  **警告** 本商品装着後に、衝突等の強い衝撃を受けた場合、取付部分や本体に変形や破損、故障を生じる場合がありますので、直ちにご使用を中止し、整備工場にて点検を受けてください。
-  **警告** 走行中に異常な振動や異音等を感じたら直ちに安全な場所に停車し、レクサス販売店にて点検を受けてください。そのまま走行を続けると、車両の破損や事故の原因となります。
-  **警告** 本商品は舗装路での走行を想定して設計されています。悪路や雪道での走行は、破損の原因になりますので十分な安全速度で注意して走行してください。
-  **警告** 本商品には十分な強度・耐久性を持たせてありますが、保管条件や取扱条件、走行条件によっては破損、故障が起こる可能性があります。保管、取付作業、ご使用に際しては十分にご注意ください。
-  **注意** 本商品の交換・取付作業は必ずレクサス販売店で実施してください。
-  **注意** 本商品の取付の際は必ず該当車両の修理書（トヨタ自動車(株)発行）に従い、本書の注意事項を守って作業を行ってください。
-  **注意** 本商品は各構造基準に適合しているため、車検時も通常の検査と同様に受けられます。ただし適合車種以外に装着した場合、またはその他の部位を改造しているなどの使用状況によっては、その限りではありません。
-  **注意** 本商品の塗装・乾燥の際は、乾燥温度を70℃以上に上げますと、製品に変形や割れが発生しますので乾燥温度には十分注意してください。強制乾燥させる場合は製品が変形しないように固定してください。
-  **注意** 脱脂する際は、イソプロピルアルコール又はホワイトガソリンを使用し、その他の溶剤は使用しないでください。
-  **注意** 本書で指示した以外の車両部品を取り外さないでください。
-  **注意** 本商品を車両へ取付ける際は、傷付き防止のため作業前に保護シートを準備し、取付け作業は必ず保護シートの上で行ってください。また、取付け作業時には車両部品に傷を付けないように十分に注意してください。
-  **注意** 両面テープの接着力を最大限に発揮させる為、貼付作業前に両面テープ部及び取付部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。
-  **注意** お手入れの際には、シンナー、ガソリン等の有機溶剤は使用しないでください。変色・変形の原因となります。
-  **注意** 取付作業や走行により、車両本体、または本商品が損傷した場合のクレームには応じかねます。

上記の事項と本書の装着要領を必ずお守りください。

■本商品は、3年・60,000Kmの保証を実施致します。（3年または60,000Km走行時点のいずれか早い方まで）

※保証の詳細はTRDパーツカタログサイト<<http://www.trdparts.jp/>>「保証について」をご覧ください。

■不具合が発生した場合は、お買い上げいただいた販売店へ、早急にご連絡お願い致します。



■取付準備 共通作業

1. 車両からロアバンパーとアンダーカバーを取り外します。
左図のホイールハウス下側とアンダーカバー固定用のビス・ナット・クリップ類は再使用します。

△注意：取外した車両ビスは再使用しますので、無くさない様に必ず保管してください。

△注意：車両の仕様によりアンダーカバーの大・小2種類あります。仕様に合わせて作業を行ってください。

■アンダーカバーA (DRS非装着車)

2. 型紙D⑯を切り取り、図2のようにアンダーカバーの内側をマーキングする。
(3箇所)

△注意：使用した型紙は3箇所の穴あけに使用しますので、破かないようにしてください。

3. 図3のようにφ3mm、φ7mm、φ9.5mm、φ10mmのドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつける。
φ3mmのドリルを使用してアンダーカバー部のマーキング位置に下穴をあける。
(3箇所)
4. 図3のように下穴にφ9.5mmのドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(3箇所)

5. 図4のようにアンダーカバー③のケガキ位置にφ3mmのドリルを使用して下穴をあける。
(3箇所)
6. 図4のように下穴にφ7mm(1箇所)、φ10mm(2箇所)のドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。

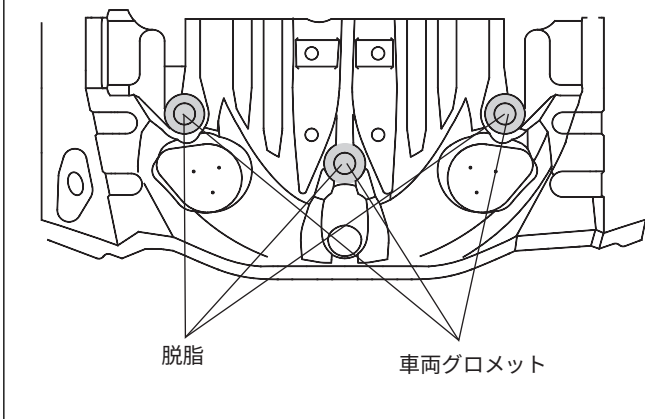
△警告：穴あけ加工時に間違った寸法で穴を開けた場合は取り付けの事が出来なくなります。必ず指示寸法で穴あけを行ってください。

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

△注意：作業時は保護メガネを着用してください。

△注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくならないように注意してヤスリ等で取り除いてください。

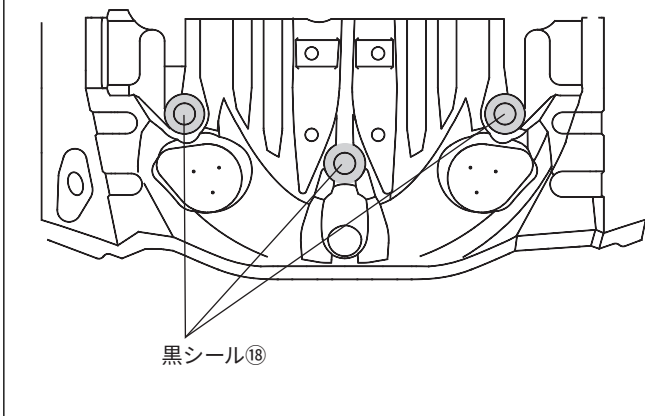
図5



7. 図5のように車両パネルからグロメットを取り外す。(3箇所)
8. 図5のように車両パネルのグロメット部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂する。(3箇所)

△注意：脱脂をする場合は、ホワイトガソリン又はイソプロピルアルコール(以下IPAという)を使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

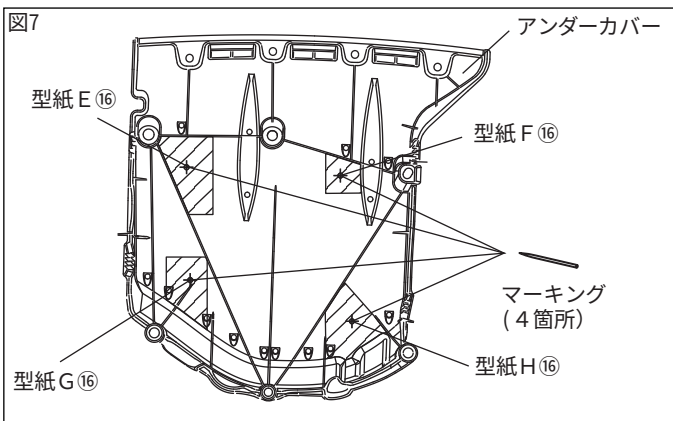
図6



9. 図6のように車両パネルに黒シール⑱を穴がはみ出さないように注意して貼り付けをする。(3箇所)

△注意：脱脂をする場合は、ホワイトガソリン又はIPAを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

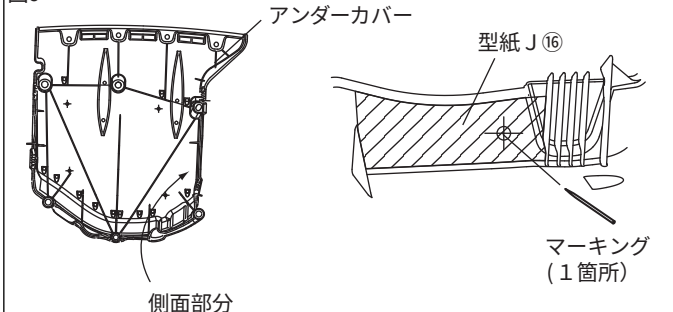
図7



□アンダーカバーB (DRS装着車・HV車)

10. 型紙E・F・G・H⑰を切り取り、図7のようにアンダーカバーの内側をマーキングする。(4箇所)

図8



11. 型紙J⑰を切り取り、図8のようにアンダーカバーの内側の側面部をマーキングする。(1箇所)

図9

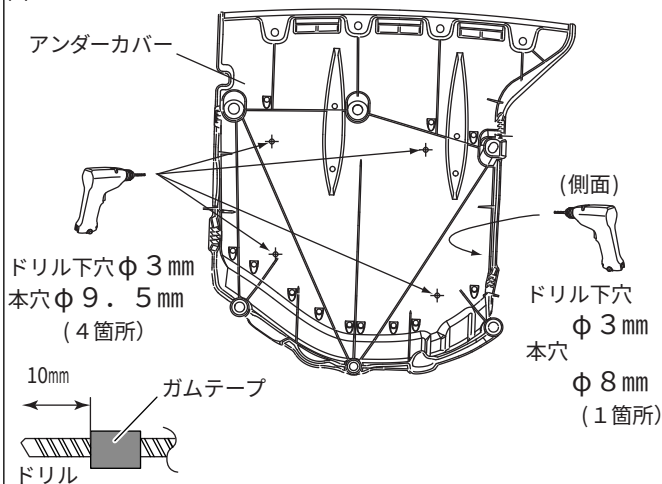


図10

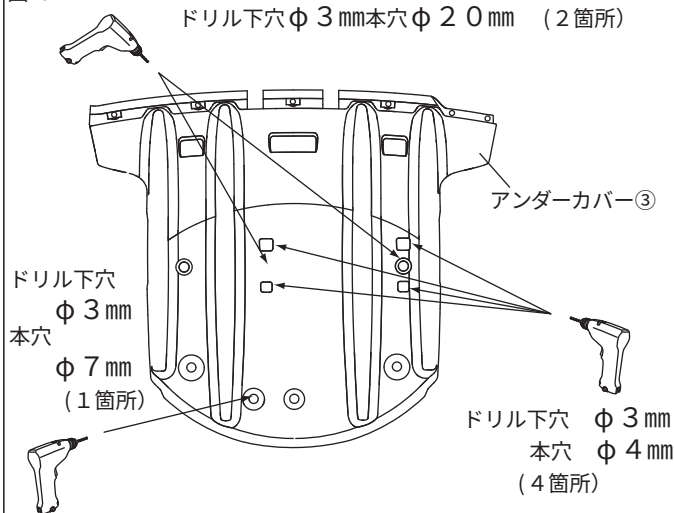


図11

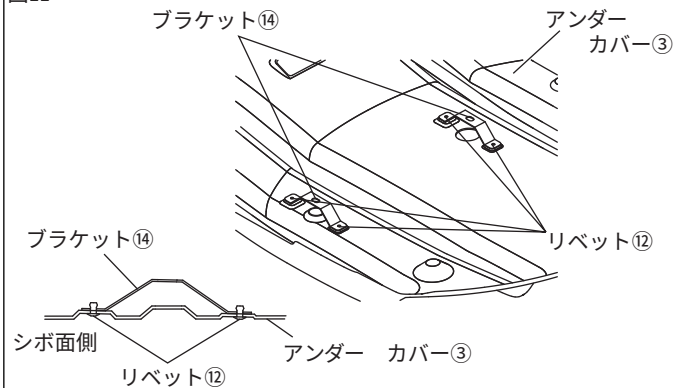
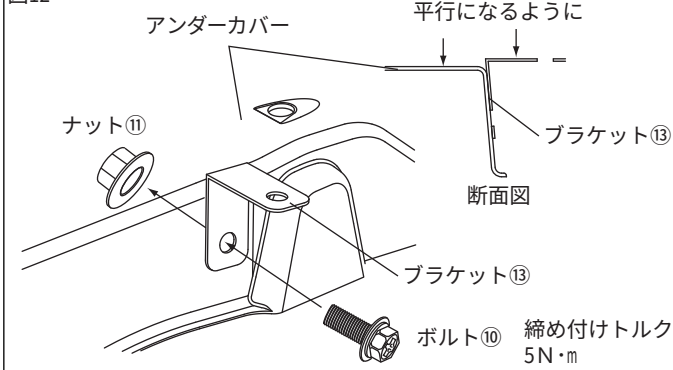


図12



12. 図9のように $\phi 3$ mm、 $\phi 4$ mm、 $\phi 7$ mm、 $\phi 8$ mm、 $\phi 9.5$ mm、 $\phi 20$ mmのドリルの先端にストッパーになるようゴムテープを巻きつける。
 $\phi 3$ mmのドリルを使用してアンダーカバー部のマーキング位置に下穴をあける。(5箇所)
13. 図9のように下穴に $\phi 8$ mm(1箇所)、 $\phi 9.5$ mm(4箇所)のドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
14. 図10のようにアンダーカバー③のケガキ位置に $\phi 3$ mmのドリルを使用して下穴をあける。(7箇所)
15. 図10のように下穴に $\phi 4$ mm(4箇所)、 $\phi 7$ mm(1箇所)、 $\phi 20$ mm(2箇所)のドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。

⚠ 警告：穴あけ加工時に間違った寸法で穴を開けた場合は取り付けの事が出来なくなります。必ず指示寸法で穴あけを行ってください。

👉 アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠ 注意：作業時は保護メガネを着用してください。

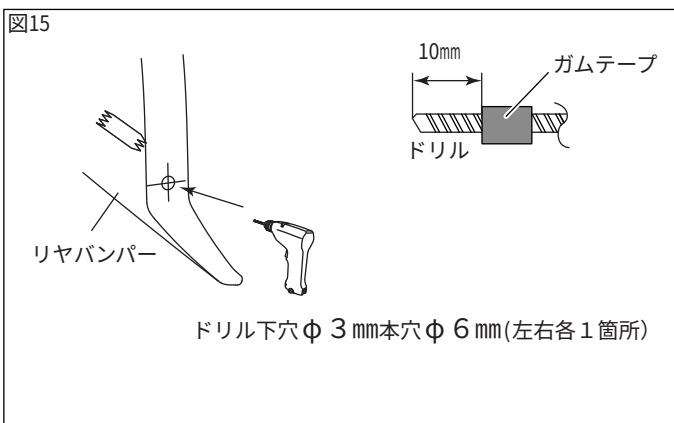
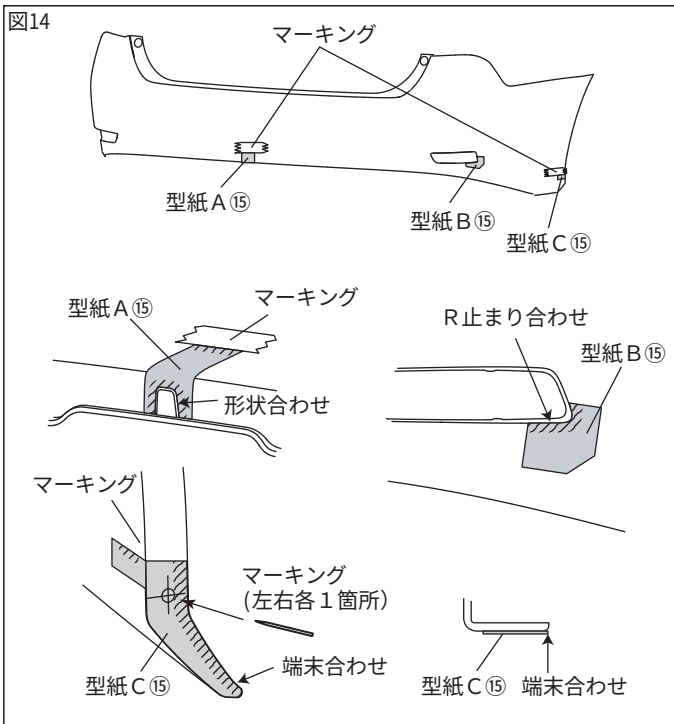
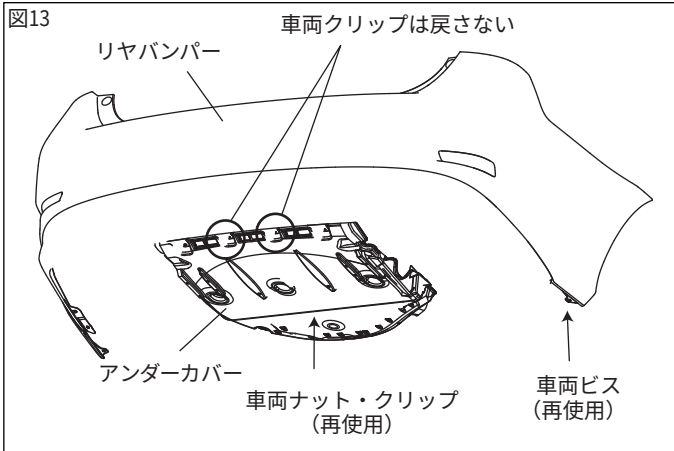
⚠ 注意：バリを取り除く時には、穴径が大きにならないように注意してヤスリ等で取り除いてください。

16. 図11のように、アンダーカバー③にブラケット⑭をリベット⑫にてシボ面側から差し込み固定する。(2箇所)

⚠ 注意：リベッターを使用する際は、製品にキズが付かない様に注意してください。

⚠ 注意：リベットで固定する際に、ブラケット⑭とアンダーカバー③との間に、隙間やガタが無いように注意して取付けてください。

17. 図12のように、図7にて $\phi 8$ mmの穴をあけたアンダーカバーにブラケット⑬をボルト⑩、ナット⑪にてアンダーカバーとブラケット⑬の平面どうしが平行になるように固定する。(1箇所)



□取付準備 共通作業

18. 図1で取り外した逆の手順でアンダーカバーを車両に取り付けます。
中央2箇所の車両クリップは、リヤディフューザーの取付に使うので、戻さないこと。

19. 型紙A⑮を切り取り、図14のようにリヤバンパーのセンター下面の形状に合わせて貼りつけ、リヤディフューザー①の取付け高さをマーキングし型紙A⑮をはがす。
(1箇所)
20. 型紙B⑮を切り取り、図14のようにリヤバンパーのリフレクター部に貼りつける。
(左右各1箇所)
21. 型紙C⑮を切り取り、図14のようにリヤバンパーのホイールハウス部に合わせて貼りつけ、リヤディフューザー①の取付け高さと同位置をマーキングし型紙C⑮をはがす。
(左右各1箇所)

⚠注意：図14はRH側を示します。LH側も同様に作業してください。

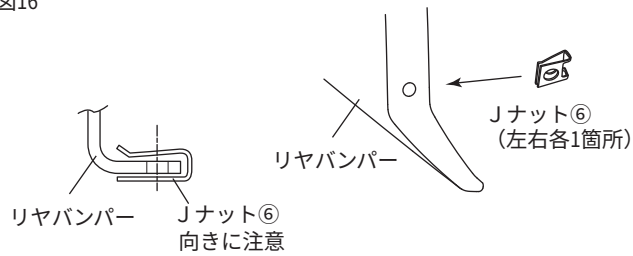
22. 図15のようにφ3mm、φ6mmのドリルの先端にストッパーになるようガムテープを巻きつけ、φ3mmのドリルを使用してホイールハウス部のマーキング位置に下穴をあける。
(2箇所)
23. 図15のように下穴にφ6mmのドリルで本穴をあけ、穴のバリを取り除く。
(2箇所)

💡アドバイス：穴あけ加工時、ドリルは穴あけ面に対して垂直にし、マーキング位置からズレないように注意してください。

⚠注意：作業時は保護メガネを着用してください。

⚠注意：バリを取り除く時には、穴径が大きくなるように注意してヤスリ等で取り除いてください。

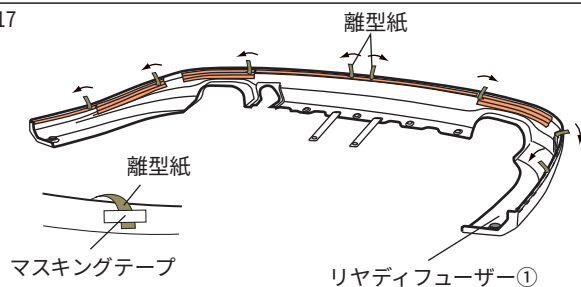
図16



24. 図16のようにリアバンパーのホイールハウスにJナット⑥を差し込む。
(2箇所)

⚠ 注意：図16のようにJナット⑥の差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとタッピングスクリュー④が取付かなくなります。

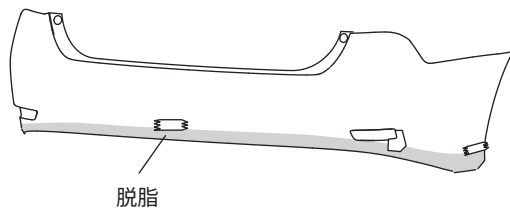
図17



25. リヤディフューザー①の両面テープの離型紙を、図17のように矢印の向きに約30mm剥がし、マスキングテープ等で表側に貼付ける。(8箇所)

⚠ 注意：両面テープの離型紙をすべて剥がしてしまうと、正しい取付位置に取付けが出来なくなります。

図18

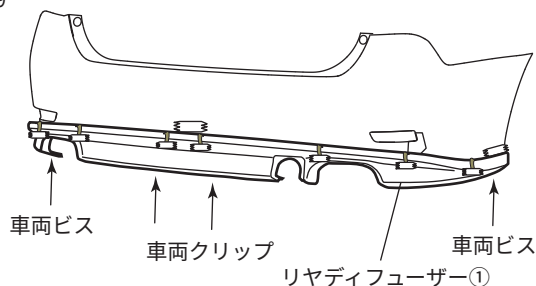


26. 図18のようにリアバンパーのリアディフューザー①取付部の汚れを取り除き、IPA又はホワイトガソリンで一方方向にふいて脱脂する。

⚠ 警告：ボディーコーティングが施されている場合は、塗装にキズをつけないよう、コンパウンド等で除去した上で、必ず脱脂を行なってください。

⚠ 注意：脱脂をする場合は、ホワイトガソリン又はIPAを使用し、シリコンオフおよびシンナーは使用しないでください。油脂分が残り、テープが剥がれる原因になります。

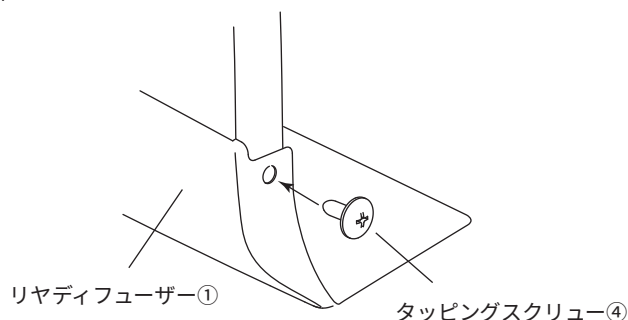
図19



□取付要領 共通作業

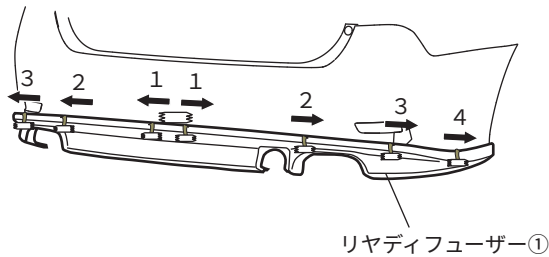
1. リヤディフューザー①をリアバンパーにかぶせ、ホイールハウス下を車両ビスで仮止めし、リアディフューザー①センターのブラケット部を車両クリップで固定する。

図20



2. 図20のようにリアバンパーのホイールハウスにタッピングスクリュー④で仮固定する。
(左右各1箇所)

図21



3. リヤディフューザー①とリヤバンパーに左右のズレ・スキが無いを確認し、マーキング位置に合わせて両面テープの離型紙を、左図番号順に剥がしながら貼付け圧着する。
{49N (5kgf) 以上}

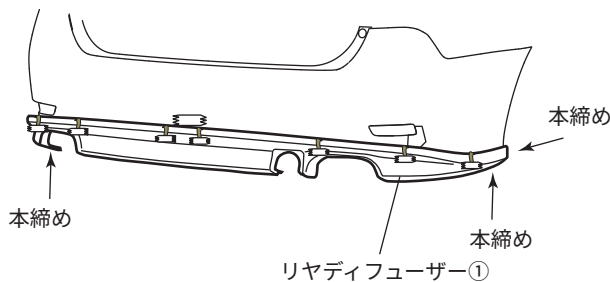
△注意：両面テープの接着力最大限に発揮させる為、貼付け作業前に両面テープ部及び車両の貼付け部をドライヤー等で約40℃程度に暖めてください。

△注意：両面テープの離型紙を図19.で指示した順に剥がさなかった場合、隙が発生する恐れがあります。

△警告：両面テープは十分に圧着して下さい。圧着が不十分な場合は、浮き剥れの原因となる事があります。

△注意：両面テープ接着後24時間以内は洗車しないでください。

図22

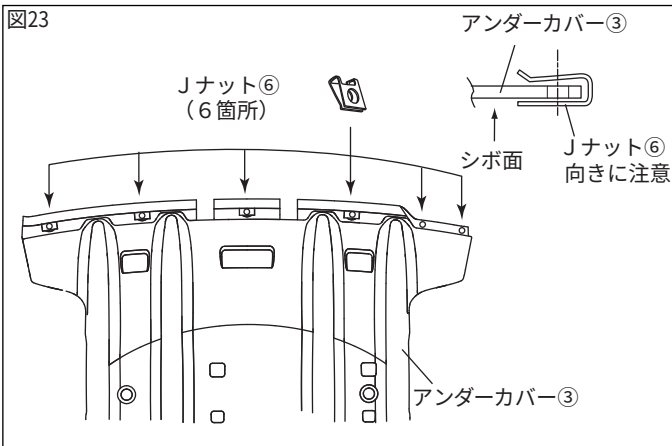


※図19.20で仮締めした箇所の本締め

4. 仮締めしておいた車両ビス(2箇所)とタッピングスクリュー④でリヤディフューザー①を本締めし、型紙B⑮とマーキングしていたテープをはがす。

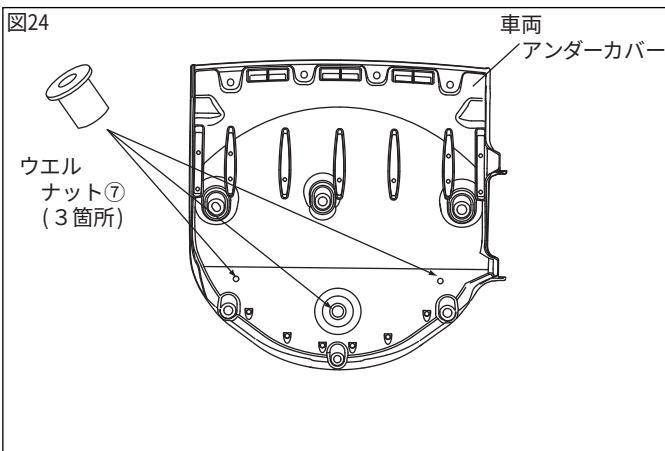
5. 図23のようにアンダーカバー③にJナット⑥をシボ面側が平らになるように差し込む。(6箇所)

図23



△注意：図23のようにJナット⑥の差し込む向きに注意してください。逆に取付けるとタッピングスクリュー⑤が取付かなくなります。

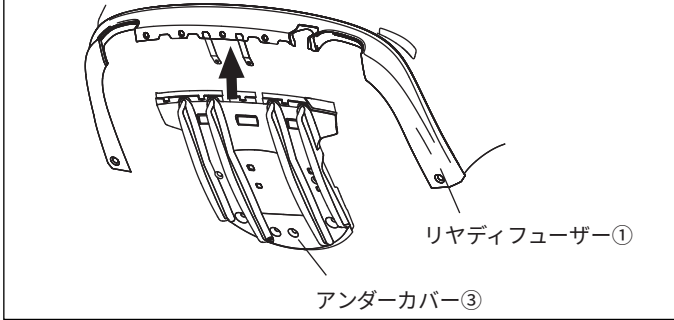
図24



□アンダーカバーA (DRS非装着車)

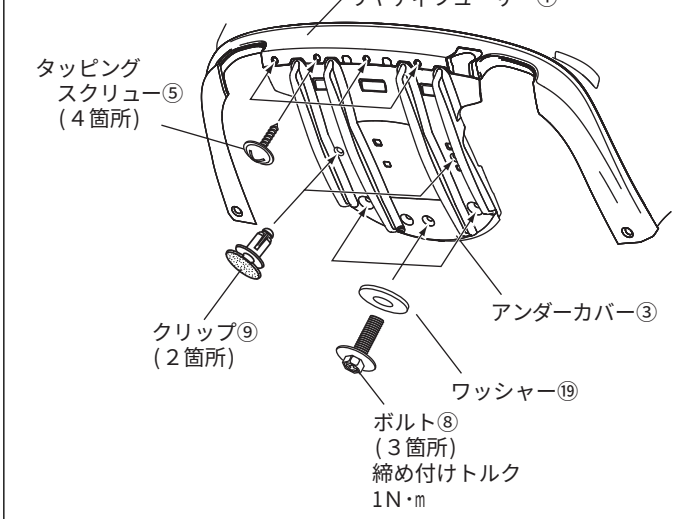
6. アンダーカバーに図3にてφ9.5mmの穴あけをした所にウエルナット⑦を差し込む。(3箇所)
7. ウエルナット⑦にボルト⑧を差し込み仮締めしウエルナット⑦が脱落しないようになじませボルト⑧を取り外す。(3箇所)

図25



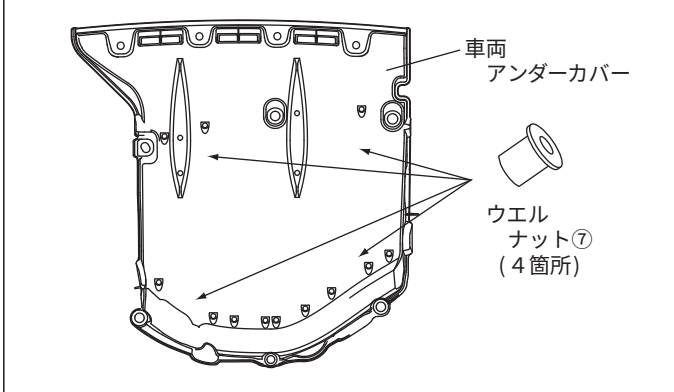
8. アンダーカバー③を図25のようにリヤディフューザーの中に差し込みます。

図26



9. 図26のようにリヤディフューザー①とアンダーカバー③を、タッピングスクリュー⑤(4箇所)とクリップ⑨(2箇所)とボルト⑧にワッシャー⑱を挟み(3箇所)で固定します。

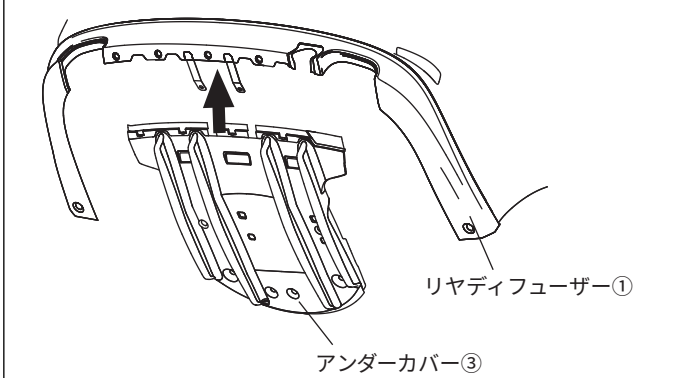
図27



□ アンダーカバーB (D R S装着車・H V車)

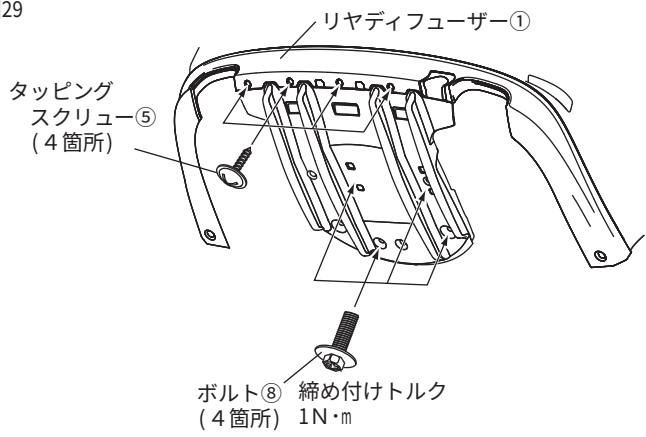
10. アンダーカバーに図9にてφ9.5mmの穴あけをした所にウエルナット⑦を差し込む。(4箇所)
11. ウエルナット⑦にボルト⑧を差し込み仮締めしウエルナット⑦が脱落しないようになじませボルト⑧を取り外す。(4箇所)

図28



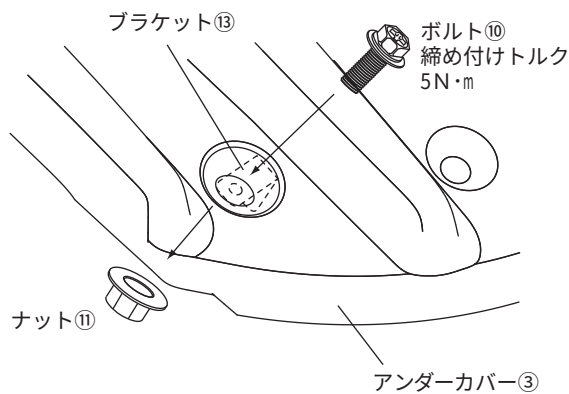
12. アンダーカバー③を図28のようにリヤディフューザーの中に差し込みます。

図29



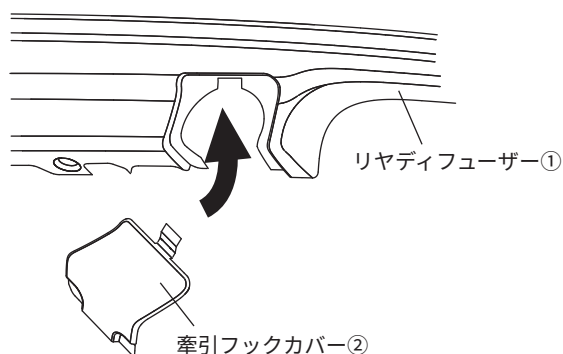
13. 図29のようにリヤディフューザー①とアンダーカバー③を、タッピングスクリュー⑤(4箇所)とボルト⑧(4箇所)で固定します。

図30



14. 図30のように図12で固定したブラケット⑬とアンダーカバー③をボルト⑩、ナット⑪にて固定します。(1箇所)

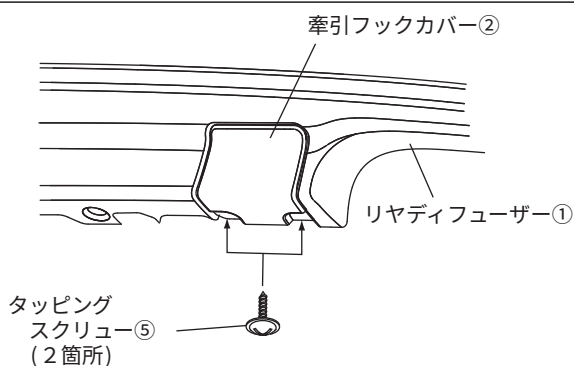
図31



□取付要領 共通作業

15. 図31のようにリヤディフューザー①に牽引フックカバー②を差し込みます。

図32



16. 図32のように牽引フックカバー②をタッピングスクリュー⑤(2箇所)で固定します。

■取付完了後の点検・注意事項

1. リヤディフューザー、及びリヤバンパーがタッピングスクリュー・車両ビス・ボルト・クリップにて、車両に確実に取付けられているか点検する。
2. リヤディフューザー及び車両部品に傷を付けていないか点検する。